

第 79 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録

1. 日 時:2014 年 2 月 5 日(水)13 時 30 分～17 時 00 分

2. 場 所:日本機械学会 第 2 会議室

3. 出席者:飯田(東電)、西野(配管技術研究協会)、西田(MHPS)、島田(東芝)、根岸(関電)、高野(中電)、谷口(川崎重工)、大橋(IHI)

代理者:なし

欠席者:小高(富士電機)、堤田(日立)、豊嶋(ハブコック日立)

オブザーバ:なし

事務局:海野(記)

4. 配布資料

79 - 1 . 第 78 回構造分科会議事録(案)

79 - 2 . 構造分科会委員名簿

79 - 3 . 第 66 回火力専門委員会議事録(案)

79 - 4 . 第 67 回規格委員会議事録(案)

79 - 5 . 火力専門委員会書面投票結果報告

79 - 6 . 審議レビュー票

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料 79-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 79-2]

新任候補,再任候補,退任委員無しが確認された。

(3) 報告事項

(3 - 1) 火力専門委員会報告

[資料 79-3]

第 66 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第 78 回構造分科会報告
- ・ 発電用設備規格委員会補足倫理規定案の対応について
- ・ 委員会資料取り扱い内規案の対応について
- ・ 次期火力専門委員長の選任結果について

(3 - 2) 規格委員会報告

[資料 79-4]

第 67 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 発電用設備規格委員会補足倫理規定案の可決(運営企画委員会への上程)
- ・ 委員会資料取り扱い内規案再投票の承認
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(4) 審議事項

(4-1) レビュー票審議

[資料 79-5]

(4-1-1) ASME B31.1 の引用年版について

材料分科会にて次回改訂版の B31.1 引用年版を 2012 年版とする方針を受け、構造分科会として従来通り 2010 年版とするか作業の手戻りが多少発生するが 2012 年版とするかについて審議し、2012 年版とすることが出席委員全員の賛成により承認された。

(4-1-2) 前回レビュー票審議のフォロー

章

- ・ PG-67 ~ 73
 - ・ PG-27.2.1.1、PG-67.2.1.6、PG-69.1.6、PG-69.2.2、PG-69.2.3、PG-73.2.11、PG-73.2.12 は取り入れる。
 - ・ PG-69.1.5、PG-73.1.1 ~ 73.1.4 は取り入れる方向で検討。
 - ・ PG-73.3.1、PG-73.2.10 は内容を継続調査。
 - ・ PG-67.2.1.1 他、MAWP の用語を「最高許容運転圧力」に修正検討。
 - ・ PG-69.1.5 他、「先駆弁付き」を「パイロット駆動式」に統一検討。
 - ・ PG-69.2.2 タイトル「スロープ」の修正検討。
 - ・ PG-69.2.3 の ASME 追加部分をレビュー票に反映((a)の2段落目と最後の2行)。A の定義の単位「mm²」に修正。記号 W を w に修正。W の定義の内容を確認し、必要な修正(用語または単位)を行う。記号 Kd を KD に修正。最後の式を SI 単位の式に修正検討。
 - ・ PG-73.2.1.2 「圧力導管」は修正検討。
 - ・ PG-73.2.11 「PG42 及び示される ASME 規格」は「PG-42 に示される ASME 規格」に修正。JIS フランジの追記を検討。

章

- ・ APPENDIX 31 ~ 32, A ~ K, KK
 - ・ A-KK 様式例を日本の実状に合わせて修正した上で取り入れる。

(4-1-3) 今回レビュー票審議

担当委員の作成した以下のレビュー票案について審議した。

章

- ・ APPENDIX 24 (高野委員)
 - ・ 24-1(f)「操作時」→「運転状態」に修正。
 - ・ ASME SI 値について確認の上、取り入れ検討。

- ・ APPENDIX M～T(飯田主査)
 - ・ M-7(d)「クローズアップ管継手」は適切な用語に修正を検討。
章
- ・ 136～137(根岸委員)
 - ・ 136.3.2 表現を原文に忠実に修正。
 - ・ 136.4.2、136.4.3、136.4.4 の許容欠陥寸法、間隔を火技解釈に合わせて保守側に
変更(5→4mm、2→1.5mm)。変更区分を に変更。

これら、本日審議を行ったレビュー票について、後日でも気が付いた所があれば、その都度、メールで連絡することとした。

6. 次回開催予定

日 時:2014 年 5 月 16 日(金)13 時 30 分～17 時 00 分

場 所:日本機械学会 第2会議室

以 上